

調査結果の概要

I 人口の動向

1 総人口

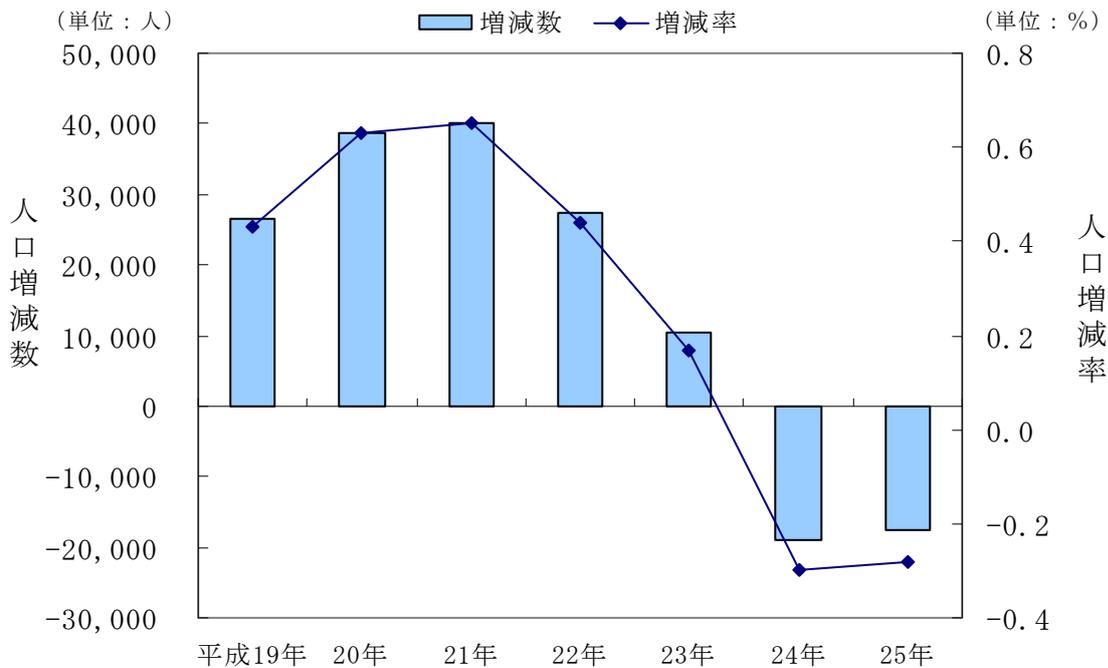
(1) 千葉県

平成25年4月1日現在の千葉県の総人口は624万461人で、平成24年4月から平成25年3月までの1年間に17,617人(-0.28%)減少した。平成24年に調査開始以来初の減少を記録してから2年連続の減少となった。(本編第4表、表1、図1)

表1 総人口の推移

年次	総人口(人)	増減数(人)	増減率(%)
平成19年	6,160,519	26,480	0.43
20年	6,199,089	38,570	0.63
21年	6,239,145	40,056	0.65
22年	6,266,608	27,463	0.44
23年	6,277,160	10,552	0.17
24年	6,258,078	-19,082	-0.30
25年	6,240,461	-17,617	-0.28

図1 総人口の人口増減数及び増減率の推移



(2) 市町村

人口が最も多いのは千葉市の95万8,161人となっている。次いで、船橋市の61万5,876人、以下、松戸市48万5,876人、市川市46万8,373人、柏市40万2,337人の順となっており、この5市で千葉県総人口の47.0%を占めている。(本編第1表、表2)

また、人口が最も少ないのは神崎町の6,525人となっている。次いで、睦沢町の7,441人、以下、長柄町7,735人、芝山町7,928人、御宿町7,956人の順となっている。(本編第1表、表3)

表2 多い順

順位	市町村名	人口(人)	総人口に占める割合(%)
1	千葉市	958,161	15.35
2	船橋市	615,876	9.87
3	松戸市	485,876	7.79
4	市川市	468,373	7.51
5	柏市	402,337	6.45

表3 少ない順

順位	市町村名	人口(人)	総人口に占める割合(%)
1	神崎町	6,525	0.10
2	睦沢町	7,441	0.12
3	長柄町	7,735	0.12
4	芝山町	7,928	0.13
5	御宿町	7,956	0.13

2 男女別人口

男女別人口は、平成25年4月1日現在で男性311万7,685人、女性312万2,776人となった。平成24年4月から平成25年3月までの1年間に、男性は10,769人(-0.35%)の減少、女性は6,848人(-0.22%)の減少となった。また、男女別人口の推移をみると、わずかではあるが女性の人口が男性の人口を上回った。(本編第4表、表4、図2)

表4 男女別人口の推移

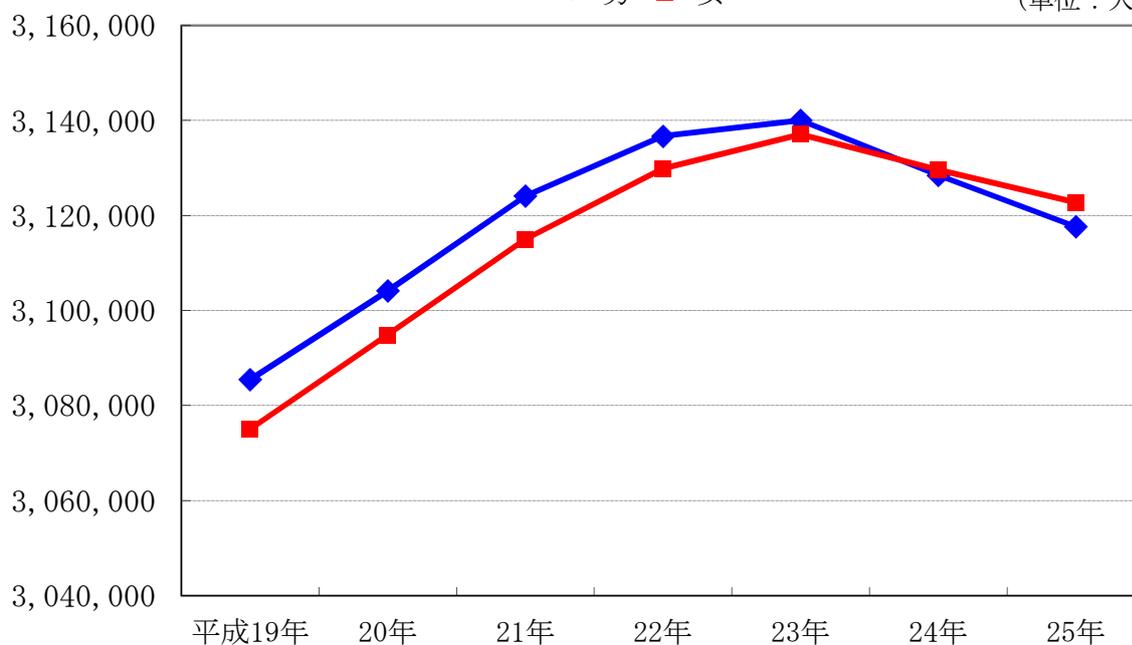
(単位：人)

年次	総数	男	増減数	増減率 (%)	女	増減数	増減率 (%)
平成19年	6,160,519	3,085,473	11,769	0.38	3,075,046	14,711	0.48
20年	6,199,089	3,104,173	18,700	0.61	3,094,916	19,870	0.65
21年	6,239,145	3,124,113	19,940	0.64	3,115,032	20,116	0.65
22年	6,266,608	3,136,705	12,592	0.40	3,129,903	14,871	0.48
23年	6,277,160	3,140,060	3,355	0.11	3,137,100	7,197	0.23
24年	6,258,078	3,128,454	-11,606	-0.37	3,129,624	-7,476	-0.24
25年	6,240,461	3,117,685	-10,769	-0.35	3,122,776	-6,848	-0.22

図2 男女別人口の推移

◆男 ■女

(単位：人)

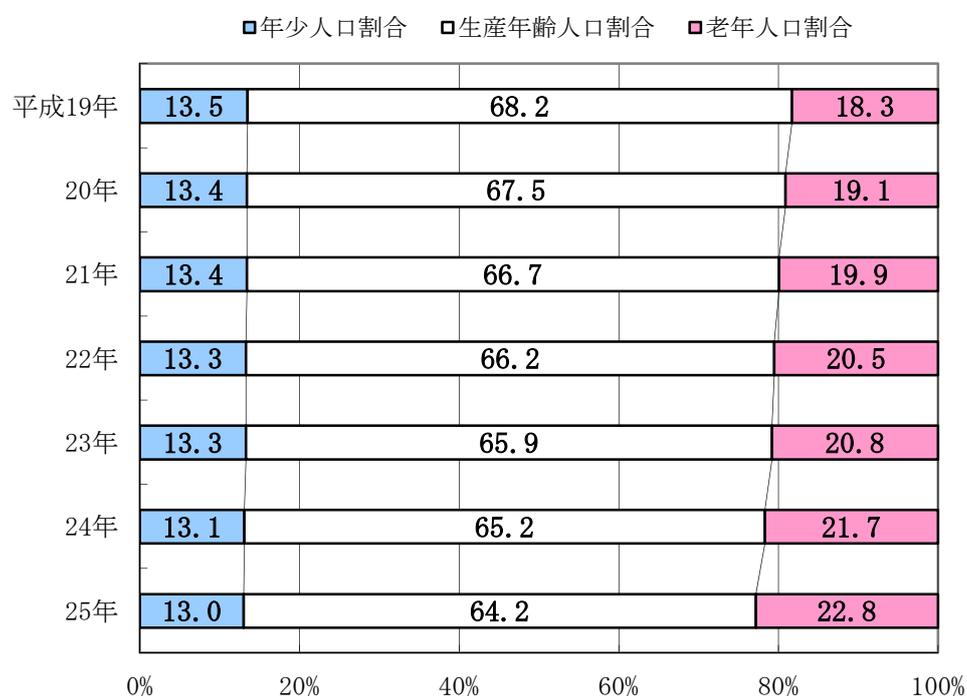


II 年齢3区分別人口

1 千葉県

平成25年4月1日現在の千葉県の年齢3区分別人口は、0～14歳の年少人口が81万1,257人、15～64歳の生産年齢人口が400万3,630人、65歳以上の老年人口が142万5,574人となっており、それぞれ総人口に占める割合は、13.0%、64.2%、22.8%となっている。これを平成24年4月1日現在と比べると、年少人口割合は0.1ポイント、生産年齢人口割合は1.0ポイントそれぞれ減少、老年人口割合は1.1ポイント増加となった。（本編第4表、図3）

図3 年齢3区分別人口割合の推移



2 市区町村

年少人口割合が最も高いのは千葉市緑区の16.3%で、次いで、浦安市、白井市の15.6%、八千代市、印西市の14.7%順になっている。また、最も低いのは御宿町の7.6%で、次いで、長南町、鋸南町の8.1%、以下、勝浦市8.2%、南房総市9.2%の順になっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは浦安市の70.5%で、次いで、市川市の68.5%、以下、印西市67.8%、富里市67.2%、成田市67.0%の順になっている。また、最も低いのは御宿町の49.5%で、次いで、鋸南町の52.1%、以下、南房総市52.4%、館山市55.5%、いすみ市56.1%の順になっている。

老年人口割合が最も高いのは御宿町の42.8%で、次いで、鋸南町の39.8%、以下、南房総市38.4%、勝浦市34.9%、いすみ市34.0%の順になっている。また、最も低いのは浦安市の13.9%で、次いで、印西市の17.5%、以下、千葉市緑区17.9%、成田市18.6%、市川市18.7%の順になっている。(本編第1表、表5、表6、図4)

表5 高い順

(単位：%)

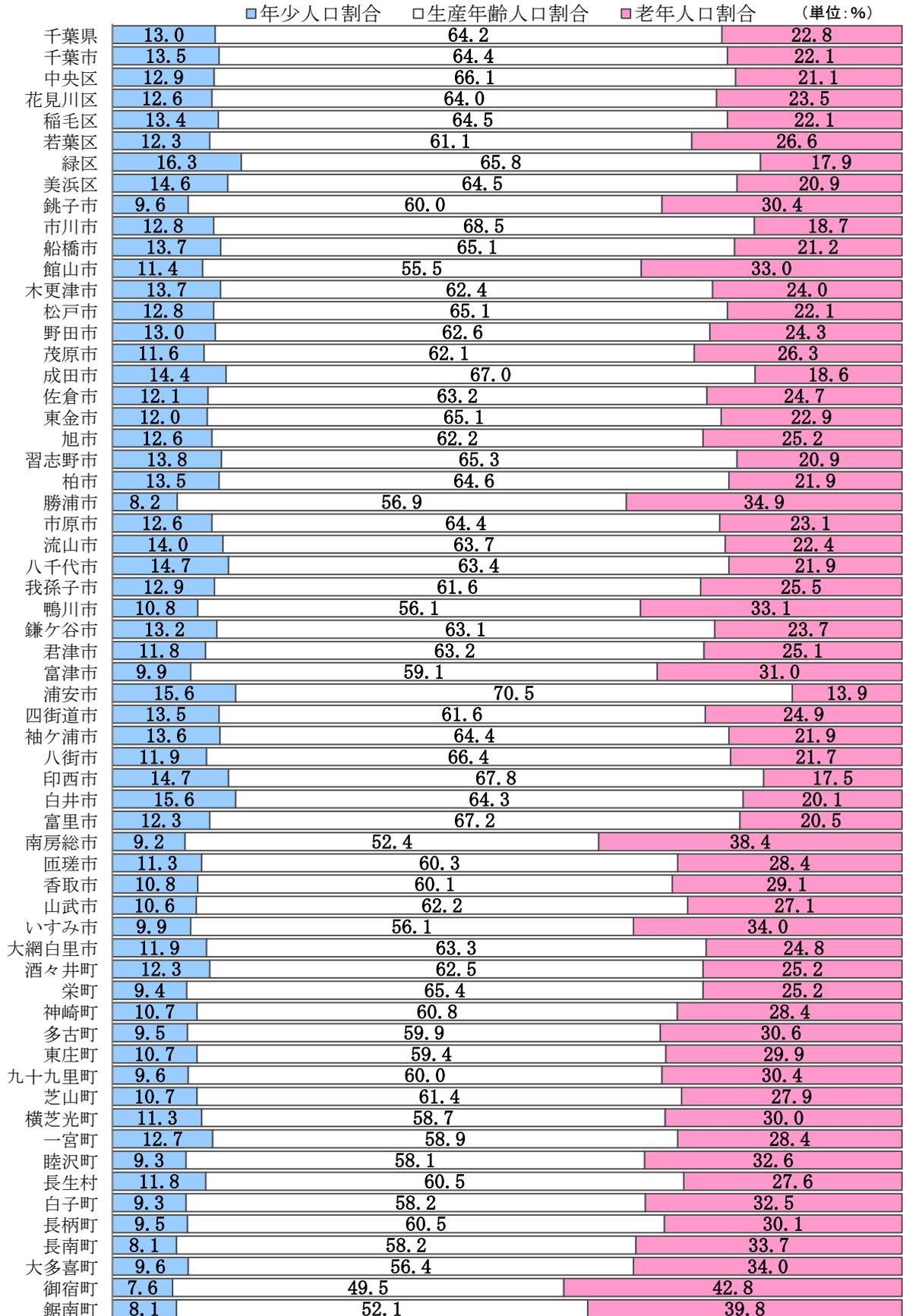
年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	千葉市緑区	16.3	1	浦安市	70.5	1	御宿町	42.8
2	浦安市	15.6	2	市川市	68.5	2	鋸南町	39.8
2	白井市	15.6	3	印西市	67.8	3	南房総市	38.4
4	八千代市	14.7	4	富里市	67.2	4	勝浦市	34.9
4	印西市	14.7	5	成田市	67.0	5	いすみ市	34.0

表6 低い順

(単位：%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	御宿町	7.6	1	御宿町	49.5	1	浦安市	13.9
2	長南町	8.1	2	鋸南町	52.1	2	印西市	17.5
2	鋸南町	8.1	3	南房総市	52.4	3	緑区	17.9
4	勝浦市	8.2	4	館山市	55.5	4	成田市	18.6
5	南房総市	9.2	5	いすみ市	56.1	5	市川市	18.7

図4 年齢3区分別人口割合（県・市区町村別）



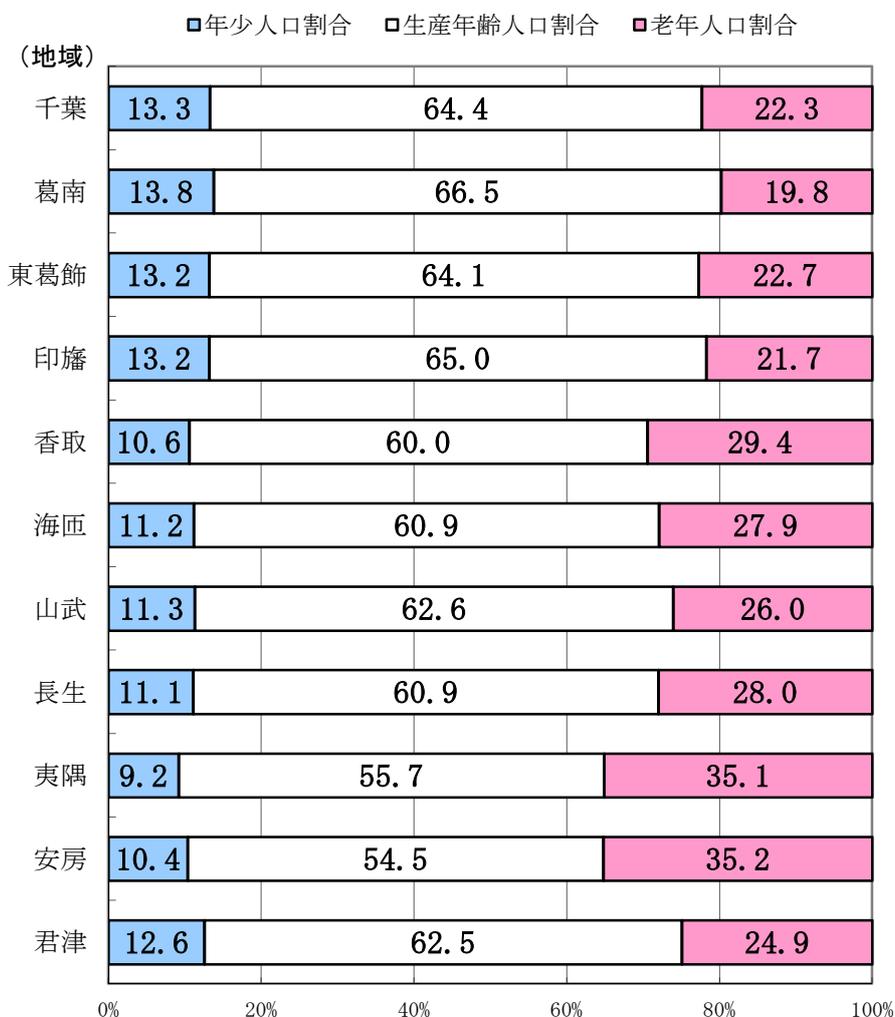
3 1 1 地域

年少人口割合が最も高いのは葛南地域の13.8%で、次いで、千葉地域の13.3%、東葛飾地域と印旛地域の13.2%となっている。なお、年少人口割合が最も低いのは夷隅地域の9.2%であった。

生産年齢人口割合が最も高いのは葛南地域の66.5%で、次いで、印旛地域の65.0%、千葉地域の64.4%となっている。なお、生産年齢人口割合が最も低いのは安房地域の54.5%となっている。

老年人口割合が最も高いのは安房地域の35.2%で、次いで、夷隅地域の35.1%、香取地域の29.4%となっている。なお、老年人口割合が最も低いのは葛南地域の19.8%となっている。(本編第1表、図5)

図5 年齢3区分別人口割合 (11地域別)



Ⅲ 年齢（5歳階級、各歳）別、男女別人口

1 年齢5歳階級別人口

年齢5歳階級別にみると、40～44歳が51万5,361人で最も多く、総数に占める割合は8.26%となっている。

以下、35～39歳が48万3,967人で7.76%、60～64歳が47万9,607人で7.69%、65～69歳が43万5,839人で6.98%、45～49歳が42万2,798人で6.78%の順となっている。（本編第2表、表7）

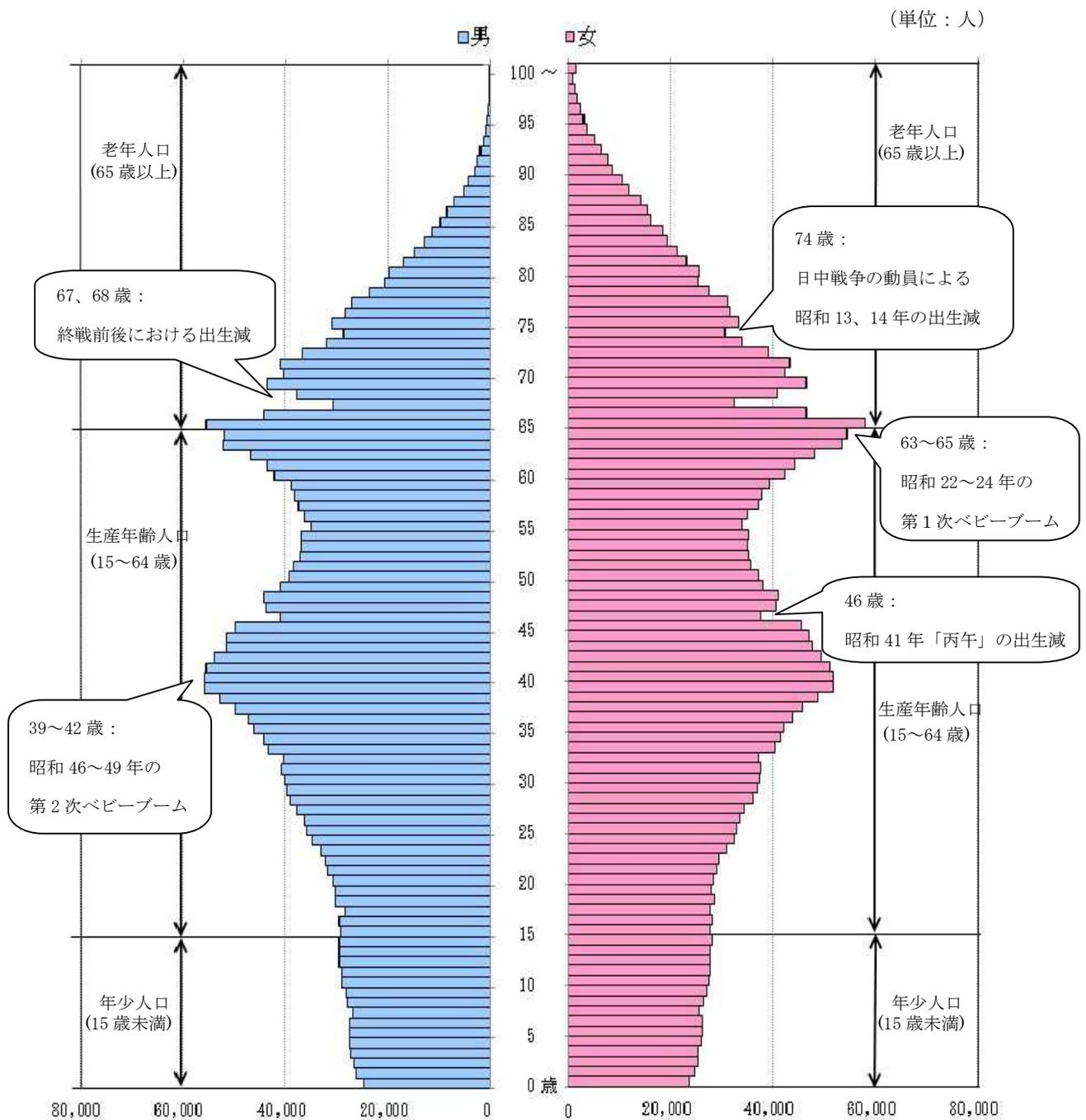
表7 年齢5歳階級別人口

年齢	人口（人）	総数に占める割合（%）
総数	6,240,461	100.00
0～4	256,961	4.12
5～9	269,712	4.32
10～14	284,584	4.56
15～19	287,502	4.61
20～24	313,026	5.02
25～29	362,270	5.81
30～34	403,134	6.46
35～39	483,967	7.76
40～44	515,361	8.26
45～49	422,798	6.78
50～54	367,025	5.88
55～59	368,940	5.91
60～64	479,607	7.69
65～69	435,839	6.98
70～74	368,690	5.91
75～79	279,512	4.48
80～84	183,499	2.94
85～89	102,865	1.65
90～94	41,507	0.67
95～99	11,852	0.19
100～	1,810	0.03

2 年齢各歳別人口

年齢各歳別人口で最も人口が多いのは第1次ベビーブーム世代である、65歳の11万3,645人で、次いで、第2次ベビーブーム世代である、40歳の10万7,511人となっている。(本編第2表、図6)

図6 千葉県人口ピラミッド



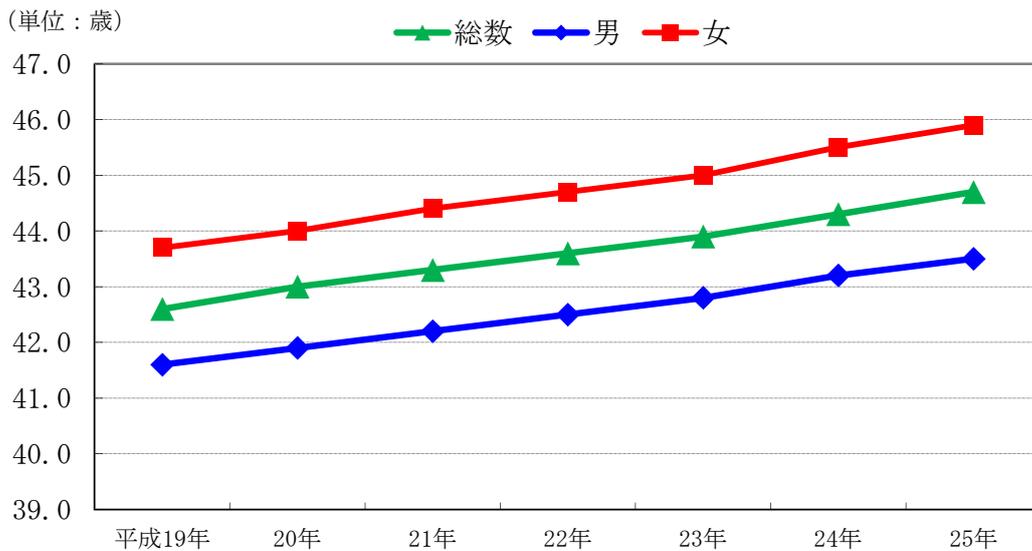
総数 6,240,461人

IV 平均年齢

1 千葉県

平成25年4月1日現在の千葉県の平均年齢は44.7歳となっており、平成24年4月から平成25年3月までの1年間に0.4歳上昇している。なお、男女別にみると、男性の平均年齢は43.5歳、女性45.9歳となっている。また、千葉県の平均年齢は平成19年から平成25年までの6年間で2.1歳上昇している。(本編第1表、第4表、図7)

図7 平均年齢の推移



2 市区町村

市区町村別の平均年齢が最も高いのは御宿町の55.9歳となっており、県の平均年齢を11.2歳上回っている。以下、鋸南町54.6歳、南房総市53.9歳、長南町52.6歳、大多喜町52.2歳の順になっている。また、平均年齢が最も低いのは浦安市の39.5歳で、県の平均年齢を5.2歳下回っている。次いで、千葉市緑区41.6歳、成田市42.1歳、市川市と印西市42.6歳の順になっている。(本編第1表、表8、表9)

表8 高い順

順位	市区町村名	平均年齢 (歳)
1	御宿町	55.9
2	鋸南町	54.6
3	南房総市	53.9
4	長南町	52.6
5	大多喜町	52.2

表9 低い順

順位	市区町村名	平均年齢 (歳)
1	浦安市	39.5
2	千葉市緑区	41.6
3	成田市	42.1
4	市川市	42.6
4	印西市	42.6